

1. 佐世保市の概況

(1) 地形と特性

本市は長崎県の北部に位置する、面積約426km²、人口約25万人を有する県下第二の都市です。長崎県北地域の行政、商業、文化、交通等の中心都市で、「西海国立公園九十九島」、「九十九島水族館“海きらら”」や「ハウステンボス」をはじめとする観光都市として年間430万人（令和4年）を超える観光客が訪れています。

気候は、近海を流れる対馬暖流の影響を受け、海洋性気候を呈し温暖です。

地形は海に面し、すり鉢状に周囲を200～700m級の山に囲まれ、平坦部分が少なく傾斜地にもかなりの市街地が伸びています。

北は佐々町と平戸市及び松浦市、東は佐賀県と東彼杵郡に接し、西はリアス式海岸で外洋に接し西海国立公園を形成する九十九島の雄大な眺望が広がっており、南は針尾島と俵ヶ浦半島に接しています。

佐世保湾は、港域41km²、港口1km、奥行12kmの南北に長い天然の良港です。

この佐世保湾の更に内陸部には大村湾があり、この両湾は針尾島をはさむ2つの水路（伊ノ浦瀬戸、早岐瀬戸）によってつながれています。

さらに、美しい自然環境と豊富な海の幸にも恵まれ、来訪者には大変親しみやすいまち、暮らしやすいまちとして好評です。

産業面においては、類似都市と比較した場合、本市は第3次産業の比率が高く、消費都市、商業都市の比重が大きくなっています。

平成17年4月1日に近隣の吉井町及び世知原町と、平成18年3月31日には、近隣の小佐々町及び本土から約60km離れた離島の宇久町と合併し、さらには平成22年3月31日には近隣の江迎町及び鹿町町と合併しました。

(2) 行政区域

（令和6年3月31日現在）

